

## バイオビジネス経営学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 土田志郎

### ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

バイオビジネス経営学特論演習Ⅰ・Ⅱでは、バイオビジネス経営学特論Ⅰ・Ⅱで学んだことを受講者の修士論文の作成に活かせるよう、受講者の研究テーマに沿った形で論文作成に役立つ具体的な方法やノウハウについて学ぶとともに、受講者に研究の進捗状況について報告してもらう。後期のバイオビジネス経営学特論演習Ⅱでは、まず夏季休暇中に行った調査の概要を報告してもらった後、受講者の研究テーマに関係のある論文の報告を行うとともに主要な統計解析手法について実際にパソコンソフトを用いて使用してみる。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

調査 分析ツール

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	調査結果の報告(第1週～第2週)	①調査の報告1、②調査の報告2で、各受講者に夏季休暇中に行った調査結果を報告してもらう。	必要に応じて、事前に関連資料等を配付するようにするので、目を通し、当日の演習に参加すること。また、演習後は、分からない点や不明な点がなかったかチェックするとともに、しっかり復習すること。なお、報告する場合は、事前に十分に準備をしておくこと。
2	既往論文についての報告・議論(第3週～第8週)	③既往論文の報告・討議1～⑧既往論文の報告・討議8の8回の演習を通じて、研究論文の作成の仕方を学ぶ。具体的には、受講者の研究テーマにかかわる既往論文をいくつか選定し、担当者がその論文の狙い、アプローチ方法、章構成、具体的分析手法、論文で得られた新知見、論文の結論、残された課題、不十分点等について報告し、受講者間で議論する。	
3	分析ツール(第9～13週)	受講者の修士論文テーマで使用される可能性の高い分析ツールを取り上げて学習する(⑨分析ツールその1～⑬分析ツールその5)。	
4	修士論文骨子の検討(第14～15週)	受講者に修士論文の骨子を報告してもらい、討議する(⑭骨子報告その1、⑮骨子報告その2)。	

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

必要に応じてゼミの中で指示する。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業への積極的な参加度とレポート等で評価する。

### ◆オフィスアワー

毎週木曜日 16:20 以降研究室で受け付ける。

### ◆その他受講上の注意事項